

## 国際航路会議 (PIANC) の概要

国際航路会議 (Permanent International Association of Navigation Congresses・略称 PIANC, 創設 1894 年) は、船舶航行のための航路等施設に関する技術上の問題を解決するために設けられた国際的な組織である。

その運営は、基本構成要員である現在 50 か国の参加政府を中心として行なわれるが、技術的な問題に関する国際的な交流の場としての性格が強く、広く民間・個人に開放されており、現在 66 か国から合計 648 の団体と 2211 名の個人が会員として参画している。

協会活動の 2 つの柱は、4 年ごとに開催される学術的な国際航路会議 (1969 年に第 22 回会議がパリで行なわれた。第 23 回は 1973 年にオッタワで開かれる) と、必要に応じて設けられる国際研究委員会 (現在 6 つのテーマにつき設置されている。委員は、関係国の国内委員会より、おもに技術専門家が推薦されている。オイルタンカーなどの問題については、日本国内委員会の下に小委員会を設けて国内での検討を行なっている。

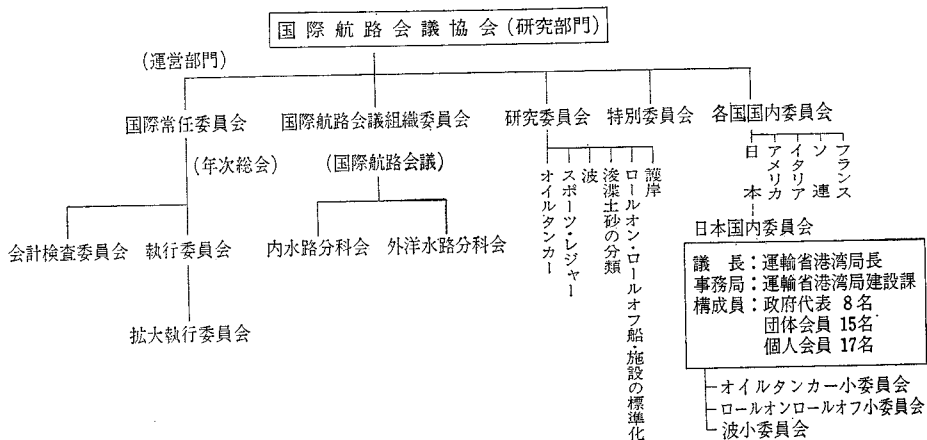
なお、今年度の成果の一部として、浚渫土砂の分類に

関する勧告、ロールオンロールオフ船および施設の標準化に関する勧告がまとめられた。過去において、海洋土木の面から日本は多くの成果を得ていたが、最近はコンテナ・ロールオンロールオフ・大型タンカーなどの新しい輸送形態に対する技術・海洋レクリエーション関係の機器施設・安全かつ効率的な港湾運営の技術などが新しい課題として取り組まれている。

この協会のなかにおいて、日本はアメリカ合衆国・イタリア・オランダ・イギリスなどの国とともに中心的な役割を果たしている。なお、日本の国内委員会事務局は運輸省港湾局建設課内に置かれている。

会員の特典としては

- ① 会誌 (季刊) 等出版物の受領 (6 か国語対照図解技術用語辞典全 10 巻などが出版されている)
  - ② 会誌への論文・論説の投稿
  - ③ 国際航路会議へ論文の提出および討論への参加・勧告などの採決への参加
- などがあり、会費は以下のとおりである。
- ① 団体会員 : 12 882 円/年
  - ② 個人会員 (普通会員) : 2 577 円/年
  - ③ 個人会員 (終身会員) : 一時金 38 644 円



PIANC 組織図

(文責・大機編集委員)

# 土木用語辞典

土木学会監修  
コロナ社・技報堂共同出版

B6 判 1460 ページ 定価 5500 円 (〒学会負担) ◀カタログ進呈▶

●収録用語 約 10000 語 ●執筆者 100 余名

●内 容 用語には定義をつけ可能な限り図版を入れ、英・独・仏語をつけてある。